

① 鳥獣被害対策について

様々な鳥獣被害防止対策を講じているにも関わらず一向に減らない被害。イノシシ等が生活圏にまで出てくるようになり、赤道の土手や庭先、更には家庭菜園までが荒らされている現状にある。

「長崎・西彼地域鳥獣被害防止計画」を基に、被害状況を確認したところ長与町では、令和3年度イノシシによる被害金額が691.2万円、カラスによる被害金額が36.7万円、アナグマによる被害金額が76万円であった。一年を通じてほぼ全域において、農作物被害と生活環境被害が拡大している。

現在、鳥獣被害防止計画を基に、令和5年度から令和7年度までの年度ごとに減額目標を定め、各種取り組みを実施しているところであるが、現在の状況について伺う。

- (1) 被害軽減の達成状況は順調か。(令和5年度の実績)
- (2) 従来講じてきた被害防止対策の中で、各種課題の達成状況はどうか。
- (3) 一般家庭でも被害が発生している中、ワイヤーメッシュ柵の助成ができないか。
- (4) 長崎市・時津町との連携は行っているか。

② 長与皿山窯跡の保存整備事業について

本件は、史跡の保存と管理を確実にを行うため、平成20年度より用地買収に着手。現在、買収予定面積の63.5%を買収済で残りについては継続して交渉を行っている。更に、発掘調査の実施および保存、管理、活用方法について検討を行っている。

そこで以下について質問する。

- (1) 令和3年度から実施した発掘調査についての状況を伺う。
- (2) 発見された遺物についての保存・管理についての計画を伺う。
- (3) 皿山窯跡の環境整備についての計画を伺う。